

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価結果を見ている家族が少ない。外部評価の結果に関心をあまり持っておられないのではないか？</li> <li>運営推進会議の議事録が現在のところ報告のみで参加者の意見、内容の記載がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、核家族様に結果を郵送しネット上にもあげており、その旨書面でお伝えしているが、実際に読んでもらえるように工夫していきたい。</li> <li>コロナ禍で従来の会合ができなかったが、今後は集まったの会合を実施し、意見や検討内容を記録していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家族様への手紙」と一緒に評価結果を郵送し、その際、ネット上にもあげている旨の書面も添付しているが、今後は電話や面会時に直接、そのことをお伝えし読んでいただけるようお願いする。</li> <li>今後は、参加者の意見や検討内容等々を記載した議事録を作成する。</li> </ul>	6ヶ月
2	6	<p>現在2点柵をしている利用者さんが一人おられる。 入所当初からの家族様の希望であるが、引き続き 家族とも話しあいを続け、身体拘束ゼロの取り組みを目指していかなければならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も家族様と話し合いを続け、2点柵の必要性について検討を重ねていく。</li> <li>緊迫性・非代替性・一時性の原則に立ち返り、身体拘束ゼロの取り組みに努めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も定期的に家族様と話し合いの機会を作り、現状の報告と2点柵の必要性について検討を重ねていく。同時に施設内でも身体拘束防止会議等で、2点柵をはじめとする身体拘束についての勉強会を実施し、身体拘束についての理解を深め、緊迫性・非代替性・一時性の原則に立ち返り、職員全員で身体拘束ゼロの取り組みに努めていく。</li> </ul>	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。